

天理市観光協会設立60周年記念

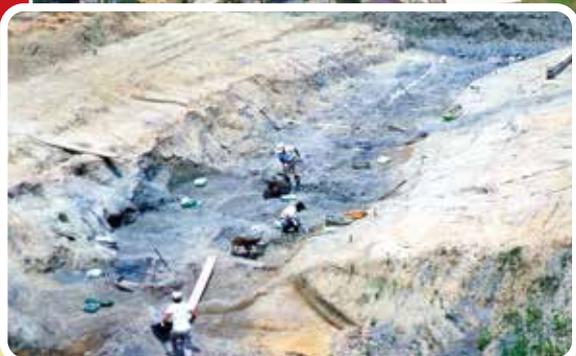
「大和の中のヤマト」シンポジウム in 東京国立博物館

# ここまで判った物部氏

—考古学の調査研究成果から—

「物部氏」は大和(奈良県天理市付近)と河内(大阪市八尾市付近)に本拠を構えたとされる古代豪族で、  
両地域を核に一大勢力を築き、ヤマト王権を支えた。

587年、物部守屋は蘇我氏との争いに敗れるが、その後も「物部氏」は大和の地に根を張り続ける。  
本シンポジウムでは、石上神宮、布留遺跡、杣之内古墳群、石上・豊田古墳群などを組上に載せ、  
考古学の調査研究成果から「物部氏」の実像に迫る。



◀布留遺跡の大溝

▲史跡西山古墳

日時

平成30年3月4日(日)

10:00~16:00(開場:受付/9:30)

会場

東京国立博物館 平成館:大講堂(1階)

コーディネーター / 池田 保信 氏 (埋蔵文化財天理教調査団:主任)

講師 / 桑原 久男 氏 (天理大学文学部:教授)

池田 保信 氏 (埋蔵文化財天理教調査団:主任)

古谷 毅 氏 (京都国立博物館学芸部:主任研究員)

中久保 辰夫 氏 (大阪大学埋蔵文化財調査室:助教)

石田 大輔 氏 (天理市文化財課:主任)

寺前 直人 氏 (駒澤大学文学部:准教授) / パネルディスカッション:司会



主催 / 天理市観光協会 後援 / 天理市、奈良県、(一財)奈良県ビジターズビューロー、歴史街道推進協議会



◀七支刀表面

天理市観光協会設立60周年記念  
「大和の中のヤマト」シンポジウム in 東京国立博物館



▲石上神宮



▲布留遺跡出土 把頭



▲豊田狐塚古墳出土 獣像鏡

平成30年3月4日(日)

タイムスケジュール

開 場 9時30分～ 開 始 10時00分～

開 会 10時00分～開会、主催者あいさつ、日程説明

講 演 10時10分～「古代史の鍵を握る二つの刀剣—中平銘鉄刀と七支刀—」  
(40分) 桑原 久男氏 (天理大学文学部:教授)

発表[1] 10時50分～「布留遺跡の調査成果—古墳時代を中心に—」  
(40分) 池田 保信氏 (埋蔵文化財天理教調査団:主任)

発表[2] 11時30分～「物部氏と武器生産—石上神宮と王権の武装—」  
(40分) 古谷 毅氏 (京都国立博物館学芸部:主任研究員)

昼食休憩 12時10分～13時00分(50分)

発表[3] 13時00分～「物部氏の権力基盤—近年における布留遺跡の研究成果—」  
(40分) 中久保 辰夫氏 (大阪大学埋蔵文化財調査室:助教)

発表[4] 13時40分～「物部氏の奥津城—杣之内古墳群と石上・豊田古墳群—」  
(40分) 石田 大輔氏 (天理市文化財課:主任)

休 憩 14時20分～14時30分(10分)

パネルディスカッション 14時40分～16時00分(90分)  
司会:寺前 直人氏 (駒澤大学文学部:准教授)  
[パネリスト] 桑原 久男氏、池田 保信氏、古谷 毅氏、中久保 辰夫氏、石田 大輔氏

定 員 / 350名【事前申込:先着順】※定員になり次第締切ります。

聴 講 料 / 1,000円 (別途入館料必要)

申込方法 / 往復はがき

「往信用裏面」郵便番号・住所・参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな・電話番号・  
「大和の中のヤマト」シンポジウム参加希望を明記ください。

「返信用表面」郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先へお送りください。  
※1枚のはがきで、最大2名の申込み可。

受付期間 / 平成30年2月1日(木)消印～2月23日(金)消印

申込先 / 〒632-8555 奈良県天理市川原城町605番地 天理市観光協会

問合先 / 天理市観光協会事務局(天理市産業振興課内)

TEL / 0743-63-1001 (内線284) E-mail / info@kanko-tenri.jp